

第23回 須磨青空元気フェスティバル
～須磨から九州へ元気を送ろう～

平成29年7月九州北部豪雨

2017年(平成29年)7月5日から7月6日にかけて福岡県や大分県を中心とする九州北部で集中豪雨が発生しました。

福岡県^{あさくら}朝倉市や大分県^{ひた}日田市では24時間の降水量が観測史上最大値を記録するなど記録的な大雨となりました。

この豪雨により河川の氾濫やがけ崩れが各所で発生し甚大な被害が起きました。

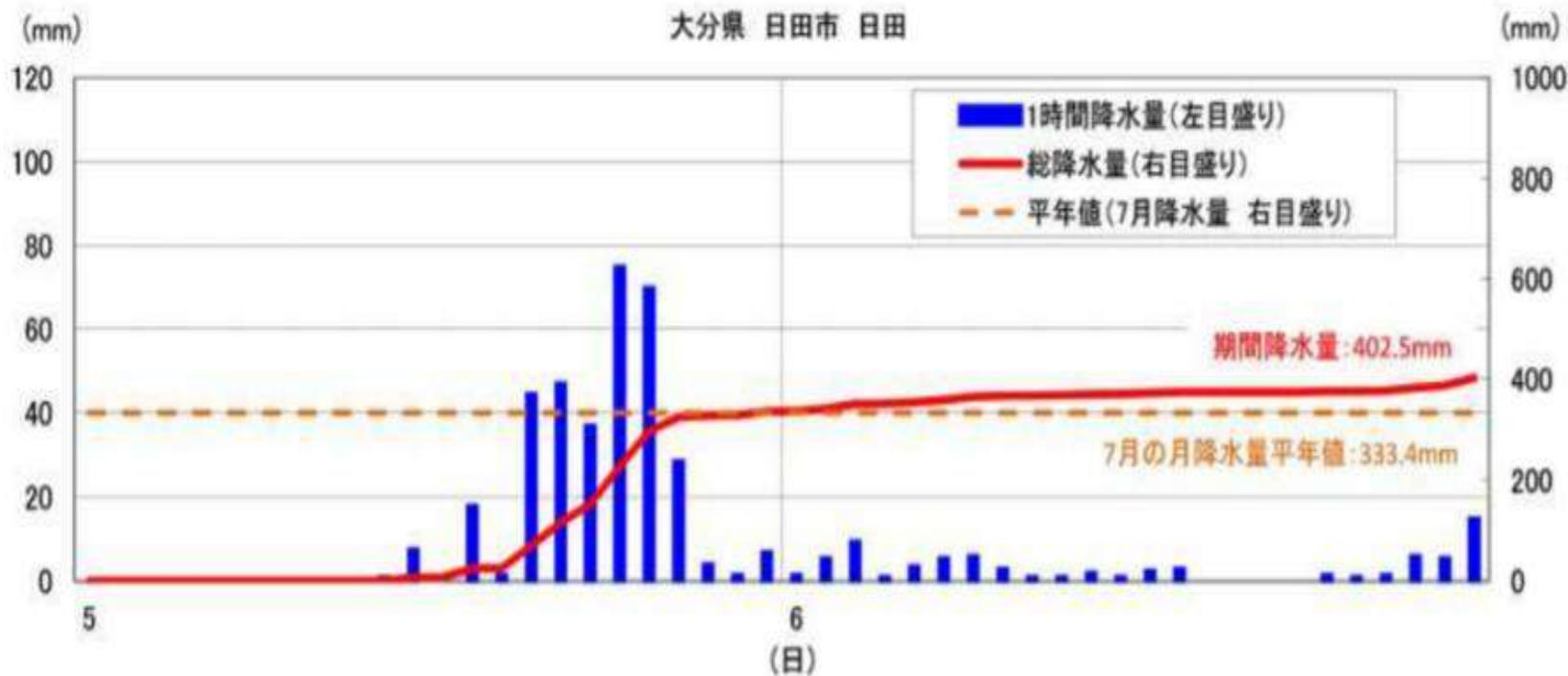
被害データ

1時間最多雨量: 129.5ミリ(福岡県^{あさくら}朝倉市)
87.5ミリ(大分県^{ひた}日田市)

がけ崩れ箇所: 266件

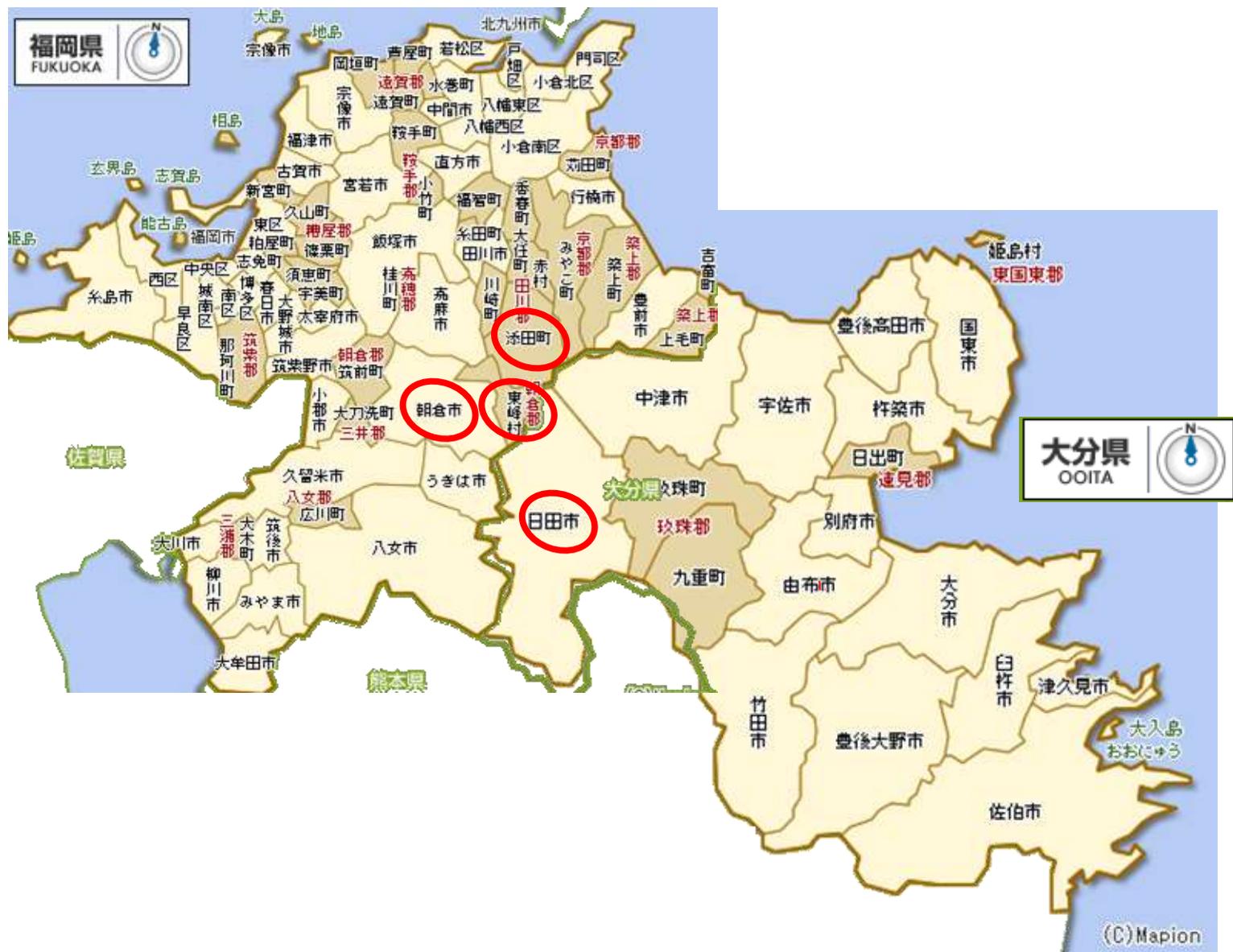
死者: 37名
行方不明者: 4名

全壊: 351棟
半壊: 1138棟
床下浸水: 1602棟
床上浸水: 497棟



データは大分県、福岡県合算
10/25現在

被災地





← 福岡県^{あさくら}朝倉郡^{とうほう}東峰村 ^{おおひがわ}大肥川
橋が流されています。

出典：国土地理院 2017年7月8日

福岡県^{あさくら}朝倉市 ^{あかたにがわ}赤谷川 →
河川が氾濫し、家屋に土砂が入って
しまいました。

出典：国土地理院 2017年7月7日



主に福岡県と大分県の県境の地域で被害が発生しました。

この地域は山間部です。がけ崩れが数多く発生したことや流木が河川をせき止めたことも被害が大きくなった要因です。

豪雨から3ヶ月以上経ちましたが、復旧計画は年単位で考えられており今後も継続的な支援活動が必要です。





← ^{ひた}大分県日田市 土砂が流入した建物
現在でも土砂が流入したままの家屋も
あります。

神戸大学学生震災救援隊撮影 2017年9月5日

^{ひた}大分県日田市 がけ崩れ現場 →
主に山間部では数多く見られます

神戸大学学生震災救援隊撮影 2017年9月5日



平成24年7月九州北部豪雨

この地域では5年前の2012年(平成24年)にも豪雨水害が発生しています。5年前の水害と比べて今回の方がひどかったと語る方もいました。

また、5年前の水害による復旧工事が完了していない河川や橋が再び今回の水害で被害を受ける事もありました。そのため住民の方からは、“今回の水害の復旧が終わる前にまた水害が起こるのではないか”という不安の声も聞こえました。

平成 24 年 7 月九州北部豪雨災害
調査団報告書



2013 年 2 月
土木学会九州北部豪雨災害調査団



しらかわ
← 熊本県白川
平成24年豪雨による越水の様子

出典：国土交通省 2012年7月

やめ
福岡県八女市
平成24年豪雨による
がけ崩れの様子

出典：林野庁 2012年7月



平成24年7月九州北部豪雨 被害データ

24時間最大雨量：507.5ミリ(熊本県阿蘇市)
396.0ミリ(大分県日田市)

死者：30名
行方不明者：2名

全壊家屋：227棟
半壊家屋：303棟
床下浸水：8003棟
床上浸水：4492棟

被害地域が福岡、大分、熊本の3県にまたがり、
甚大な被害が発生しました。